

テーマ：観光（実践校）

## 上川管内 剣淵町立剣淵小学校

### ■本実践のポイント（概要）

・小・中学校及び高等学校のつながりをもった「ふるさとキャリア教育」の実践を進めました。小学校では、「農業・福祉・絵本」の体験的な活動、北海道の市町村のまちづくりについて調べ、剣淵町のまちづくりを提案する活動を通して、ふるさとに対する愛着や誇りを高めました。

### ■ふるさと教育・観光教育の実践内容

#### ①取組の様子

##### (1) 課題の設定

第6学年では、前年度までの学習を振り返り、他の市町村のまちづくりについて、調べ学習や施設の見学に行ってきました。まちづくりの概要を捉えた後、「剣淵町をよりよい町にするために、役場の方や保護者に剣淵町のまちづくりを提案する」という課題を設定しました。



【施設見学の様子】

##### (2) 情報の収集

他の市町村の特色とまちづくりについて市役所や役場、観光協会のWebページから情報を集めました。その後、修学旅行で訪れた北見市（北見ハッカ記念館）・網走市（流氷硝子館）・紋別市（オホーツク流氷館）における体験活動や見学を通して、まちづくりについて情報を集めました。さらに、剣淵町の役場職員や地域おこし協力隊、剣淵町で農業や商業を営む方を講師に招き、ふるさとの特色やまちづくりについて理解を深めました。

##### (3) 整理・分析

これまでの学習で得た情報から、テーマを「経済・農業・自然・子育て」と設定し、テーマに基づいて改めて剣淵町の現状と課題を整理しました。

また、グループで課題を解決するための具体的なまちづくりの案について話し合い、少ないコストで実現が可能か、人口や交流人口を増やすための方策となっているか、実際にまちづくりを行った場合にどれくらいの効果があるか等を分析しました。



【講話の様子】

##### (4) まとめ・表現

学習の成果として、剣淵町の現状と課題、解決の方向性、具体的なまちづくりの案、自分たちが取り組むことができることをスライドにまとめ、リモートで剣淵町長に提案しました。また、参観日に保護者に発表するとともに、作成した資料を校内に掲示しました。

#### ②児童の感想等

- ・まちづくりは、市町村の特色を生かして行われていることに気付くことができました。
- ・剣淵について何となく知っていたことが、学習することにより深く知ることができました。
- ・学習を通して、私たちがこれからの社会を築いていくんだという自覚をもつことができました。

### ■取組の成果（○）と課題（●）

- 学習のゴールをタウンミーティングに設定したことにより、学習アンケートで、「ふるさは自慢できるところだ」と回答した児童の割合が72%から86%に、「ふるさとのためにまちづくりをしたい」と回答した児童の割合が50%から77%に増加するなど、学習を通して郷土に対する愛着と誇りを育むことができました。
- 自分たちで考えたまちづくりについて実現可能なことを行動に移すことができるよう、今後は、まちづくりを体験する活動を取り入れる必要があります。